

1 屋島活性化基本構想改正において、今後取り組むべき課題の事務局案についてのご意見

今後取り組むべき課題	ご意見
山上へのアクセス改善	全体意見 【香川経済同友会 間島委員】 交通手段・対応策の整理ができているが、会長他役員と具体案を絞り込み協議会にて案を機関決定しない限り何年たっても進まないと予想される。難解で難しくなれば別案に変更してもよいと考える。変化し続けるスピードが重要です。 【香川県みどり保全課 井上様】 行楽シーズンの駐車場対策との関わりを含め、公共交通の充実や歩道・ケーブル跡地の活用など、全体的に検討していく必要があると考えます。 2 次交通手段 【四国民家博物館 本城委員】 リフト・ケーブルカー等の 2 次交通手段については、引き続き中長期的に検討の要。琴電屋島駅と山頂間の途中駅をどうするのかという点はある。 公共交通機関の利便性の向上 【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 マス・ツーリズムが目的なら、山頂へのアクセスの改善は重要である。短時間で山上に到達し、山上を短時間で巡り、山上から短時間で帰るようでは、地元にお金が落ちないし、環境や駐車場、トイレ等のインフラ整備に負荷がかかる。これからはインバウンド等の受け入れに向けて質の高いツーリズムに転換した方がいいのではないだろうか。その視点で、公共交通機関（JR,こと電、バス）の利便性の向上が重要だと思われる。外国人が朝 8 時に JR 屋島駅に着いて、バスの始発である 9 時半までの時間待ちをしているのを見かけたことがある。 【四国民家博物館 本城委員】 バス便の増発は急務。現行の大型バスでなくとも構わないのでは。増発の障害・課題となっているのは何か？（大型バス運転手の不足？運転手高齢化に伴うそもそもの運転手不足？）課題の解決方法はないのか？ 【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 二次交通への可能性 将来的には公共交通機関が必要も、現実的には先見事項が優先。 バスの便数が少ない シャトルバスの夜の便の増設はそれなりに機能している。シャトルバスの昼間の便（特に 10 時～14 時間）半減以下になっている。是非コロナ前に回復させて。上記が無理なら、JR 高松駅からの直行便を検討して欲しい。観光特急便（琴空バス）の利用状況は？観光駐車場を平地でなく 2 階以上を検討できないか？ 【高松琴平電気鉄道株式会社 河田委員】 バス路線の拡充で十分対応可能と思われるが、運転士不足、採算性など課題があるため、一定の行政支援は必要。事業者の自主運行では限界がある。※また、繁忙期対策は必須（渋滞対策、駐車場出入庫時バス優先など）

	【香川県観光振興課 佐々木委員】 公共交通機関を利用する観光客の交通手段の確保 ダイナミックプライシング、パーク&ライド 【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 公共交通利用促進と駐車場問題とのセットでコントロールする必要がある。公共交通利用促進はいかに使ってもらえるかが肝要で、最寄り駅でなく高松駅からの直行バスの検討やバス利用者への特典付与。駐車場混雑問題は、別駐車場＋シャトルバスでは利便性低く収益性に劣るので、それをおトク感か何かで補う施策が必要。（駐車場は繁忙期値上げし、それを原資にして、別駐車場＋シャトルは激安とか屋島駅からのバスの増便）また、混雑状況ボードの設置による情報提供。
受入環境の改善	ハード面の改善 【四国民家博物館 本城委員】 トイレ整備、夜間照明のさらなる拡充、駐車場の拡大等、実行すべき事案を市がどんどん進めるべき。 【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 ・ 観光案内版（国・県・市）の統一が取れていない、難しいが期限を決めて履行。 ・ トイレが古い、特に観光駐車場に近いトイレはが優先的に改修が必要。 ・ 展望台も色々と増設され喜ばしい事ですが、展望台からの修景は樹木が覆い茂っていて悪い、関係機関（国・県・私等）が多く難しいが、年間を通して計画的に整備して欲しい。 【香川森林管理事務所 植江田委員】 意見のあった駐車場の２階建化については、公園法等問題があるかとは思いますが、徳島剣山見ノ越の駐車場にそのような駐車場があります。 【高松琴平電気鉄道株式会社 河田委員】 夕日・夜景は、屋島の魅力の一つであるが、屋島寺ややしまーるへのアクセス道、駐車場など、暗い場所が多いので、街路灯の拡充など、夜間の対策は必要か 【香川県みどり保全課 井上委員】 県では、適宜、南嶺の園路・トイレの維持管理を行うとともに、案内板等の県管理施設の老朽化対策を進めます。 ソフト面の改善 【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 史跡・天然記念物の価値を損ねる様な駐車場の整備には反対。繁忙期には駐車場の予約もしくは繁忙期料金の設定も検討いただきたい。 【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 ハード、ソフト両面でのアプローチが必要。例えば、訪日客向けの対策では、多言語対応ガイド育成や研修、案内アプリの活用等。

魅力磨き上げ・発信	【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 せとうち讃岐ジオパーク構想との連携を強化し、大地（天然記念物）、自然環境（瀬戸内海国立公園）、歴史文化（史跡）をつなげた魅力的なストーリーを磨いて、シビックプライドを育む教育や質の高い観光をめざしたい。 【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 ターゲットを明確にしたアプローチも考えられる。例えば、 ・他施設を含めた高松観光全体をパッケージ化し海外 OTA やクルーズ客への販売、VR 等の体験型コンテンツ ・屋島寺、水族館、商業施設、やしまーる、四国村が全体的に統一感ある企画イベントやナイトコンテンツによる、近場の人が身近に訪れる場所 【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 夕景・夜景の活用。やしまーるが完成後、夜の観光が脚光をあびている、今までのような 17 時を過ぎると土産物店は閉まり、真っ暗な状況からは一変したが、まだまだ。山上に大勢を収容する旅館はなく、独自で夕日・夜景を見に来るお客様は問題ないが、高松市内で宿泊のお客様を案内するツアーなどを企画する必要。（旅行会社・屋島山上観光協会・やしまーる・バス会社等と一体）。観光駐車場から霊巖展望台までの遊歩道が暗くて危険、南周りは階段があり歩き慣れてる人でも怖い、北回りは遠くて暗い。安全な遊歩道照明の設置。 【香川経済同友会 間島委員】 インバウンド等で県外観光客が増えており、ナイトタイムエコノミー観光は重要である。常時夜景を楽しめる環境づくりのためにも、アクセス改善が重要なキーワードである。また、「やしまーる」のソフト充実も必要と考える。 【高松琴平電気鉄道株式会社 河田委員】 屋嶋城が整備されているが、主要な場所から、少し場所が離れており、認知度が低い。案内板などの強化が必要と思われる。 【香川県観光振興課 佐々木委員】 県と連携した夜型観光に繋がるコンテンツや、史跡等を活かしたコンテンツの造成 【香川県みどり保全課 井上委員】 屋島のブランド力向上のための情報発信や集客性のあるイベントなど、重点的に取り組むべき課題であると考えます。
廃屋への対応	【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 屋島の価値を損ねているので、公費で撤去できるようにすることが望ましい。ただし、旧屋島ケーブルの山上駅はアー・デコ調の建物なので、アートと連携した活用も考えられる。 【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 廃屋はそのままだと景観上撤去した方がいいが、商業施設（カフェ、簡易宿所、アートスペース等）で活用の検討。 【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 旧甚五郎跡は危険・見苦しい・事故につながる。民間の所有物を、行政が撤去するのは難しいが、もう限界にきている。観光客を近くで案内するのも怖いし、嫌な気持ちになり、連れて行きにくい。クラウドファンディングでも検討すべき時期、必ずやれるはず。屋島での最優先課題では？お正月の元旦祭の復活を！

	【高松琴平電気鉄道株式会社 河田委員】 解体し跡地を駐車場拡充、休憩所の増設、緑地化等に転用。解体・転用には、法的な制約もあると思われるので、行政などによる介入は必要か？ 【香川県みどり保全課 井上委員】 特に甚五郎は、園路と隣接しており、利用者の安全確保や景観上、早急な撤去を望みます。 【環境省高松自然保護官事務所 小川委員】 参考情報として、国立公園における集団施設地区等の利用拠点において滞在環境の上質化を図るための地域関係者による計画策定や整備事業に対して支援を行う補助事業を実施しており、利用拠点計画に基づく整備事業の補助対象の一つとして廃屋の撤去があります。概要は添付資料と以下のリンクをご確認ください。 令和7年度国立公園等資源整備事業費補助金（国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業、国立公園等多言語解説等整備事業）の間接補助事業の公募について 報道発表資料 環境省
北嶺の利活用	【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 箱モノを作って、自然環境の価値を損なうより、自然環境を保全し、自然環境教育、癒しの場所として活用したい。 【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 ジオツーリズムやアドベンチャーツーリズムからのアプローチによる検討 【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 環境省が北嶺の整備をして頂き大感激です。北嶺には、遊鶴亭・千間堂跡・千間堂広場等があり、歩行（ウォーク）が原則。屋島山麓（旧ケーブルカー跡地・四国村）集合⇒表参道⇒南端冠ヶ嶽⇒屋嶋城城門跡⇒談古嶺⇒屋島寺⇒獅子の霊巖⇒北嶺へ 屋島登山、南・北嶺ウォーク 屋島山上観光駐車場集合⇒屋島山上南・北周遊ウォーク 毎月1、2回くらいは、履行して欲しい。できればガイド付き（屋島山上ボランティアガイド、やしまーる、高松大学、せとうち観光専門職短期大学、個人のボランティアガイド等）。 【高松琴平電気鉄道株式会社 河田委員】 駐車場からのアクセス強化。徒歩以外での移動手段（レンタサイクル、電動キックボード等） 【香川県みどり保全課 井上委員】 北嶺の認知度向上とアクセス向上が必要と考えますが、北嶺でのモビリティの活用については、安全確保について慎重に協議を重ねていく必要があると考えます。 【環境省高松自然保護官事務所 小川委員】 環境省としては、北嶺は、静かに歩いてゆっくり散策や自然観察を行うための場所であり、所管地内の園路は歩道を前提としております。今後も土地管理者及び施設管理者として、所管地内については、歩道としての維持管理を続けていく方針です。

2 屋島活性化基本構想改正において、事務局案以外で、今後取り組むべきと思う課題

今後取り組むべき課題	課題にした理由
【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 せとうち讃岐ジオパーク構想の推進	屋島は、史跡・天然記念物と共に瀬戸内海国立公園で国内としては1級の価値が認められている。しかし、 世界的価値の認証までは受けていない 。史跡・天然記念物と瀬戸内海国立公園を合わせた世界的価値を認証できるのかユネスコ世界ジオパークである。将来屋島に設置されるに案内板にユネスコのロゴがあれば、強烈なアピールになるとではないでしょうか。これは、ユネスコ創造都市をめざす高松市にふさわしいと思います。さらに、 香川県全域がユネスコ世界ジオパークになれば県民のシビックプライドも高まるのではないのでしょうか。
【四国旅客鉄道株式会社 寺川委員】 ブランディング戦略	水族館、やしまーる等、一定の最近のイメージも施設もあるが やはり昔の観光地のイメージがある 。どういったブランドを作り上げていくべきかの検討をし、それによりトータルコーディネートする必要性があるのではと思う。
【元気 YASHIMA を創ろう会 岡委員】 ケーブルの跡地利用	駐車場が満杯で、車だけでなくケーブル等公共交通手段が必要になってくることが予想 元気 YASHIMA を創ろう会の発足時の願望、屋島の活性化とケーブルカーの復活を!

3 その他ご意見

【香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 長谷川委員】 高松市のシンボルである屋島の価値について、多方面から検討することが必要だと考えています。屋島の世界的な価値は、山頂構成している讃岐岩質安山岩（サヌキトイド）です。これが屋島のメサを造り（天然記念物）、特有の景観と生態系（瀬戸内海国立公園）の舞台ができました。その舞台上に屋島の歴史・文化（国史跡）があるのです。これまで、バラバラだった国内的な価値を世界的価値に高めるのはユネスコ世界ジオパークへの活動だと考えています。 【四国民家博物館 本城委員】 現状の屋島活性化基本構想については、いったんケリをつけては、基本構想の改正ではなく、新しいプロジェクトとしてリスタートすべき。構成メンバーも変更すべき。地域のメンバー、考えてくれるメンバー、本当に関係のある事業法人（例、ことでん等）を中心にしてはどうか。 【香川森林管理事務所 植江田委員】 中国四国地方の小中学校がバス旅行等で来ていただければ良いと思います。 【環境省高松自然保護官事務所 小川委員】 今回の調査において、事務局案としての課題名はいただいておりますが、各課題に対する事務局案が見受けられず、どのような方針で検討されているかわからなかったため、意見調査される際には、それぞれに対する事務局案も含めていただけるとありがたいです。
